

令和 8 年度

一般選抜 A 日程 (2/4)

世界史

出題意図

I	ムガル帝国から現代インドに至る通史的理解を前提に、単なる用語暗記ではなく、「宗教政策・植民地支配・民族運動・分離独立」という歴史の構造的連関を把握しているかを問う。特に、寛容政策と帝国統合、植民地支配の経済的影響、宗教対立と国家形成の関係を因果的に理解できているかを重視し、現代インドの課題との連続性まで見通す力を測る。
II	第二次世界大戦後の国際秩序形成を軸に、国際連合・ブレトンウッズ体制・冷戦構造という三層の枠組みを統合的に理解しているかを問う。制度・政策・思想(資本主義 vs 社会主義)を関連づけて捉え、さらに代理戦争や第三世界の動きまで含めて、単なる出来事の羅列ではなく「国際構造の変化」として把握できているかを評価する。
III	気候変動を背景に、中国とヨーロッパが対照的な対外政策をとった点に着目し、「海禁・朝貢体制」と「海洋進出・商業拡大」の違いを比較史的に理解させることを意図する。さらに、銀の流通や交易ネットワークの変化を通じて、東西世界の結合とその非対称性を捉え、明の衰退と世界経済の再編を構造的に説明できる力を測る。